

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

安全確認

- 自動式伸縮門扉ですから必ず周囲の安全を確認しながら使用して下さい。
- 作動中には手・足・物等を門扉本体部に絶対にはさまないで下さい。
- リモートコントロール使用の場合、門扉が見える位置にて、必ず周囲の安全を確認しながら使用して下さい。

施工の前に

- 電動開閉装置については、電動開閉装置が右側か左側か、門扉とセットで注文したか、門扉については型式等の条件が、ご注文と一致しなければ施工ができません。
- 電線の埋設工事が必要です。電氣工事店とご相談ください。
- 電動式は片開きタイプのみです。
- 電動開閉装置の取付位置は左右勝手がありますので、ご注文時に道路側からみての開閉装置の位置をご指定ください。
- 安全性確保のため、配電ボックスは接地工事を行なってください。

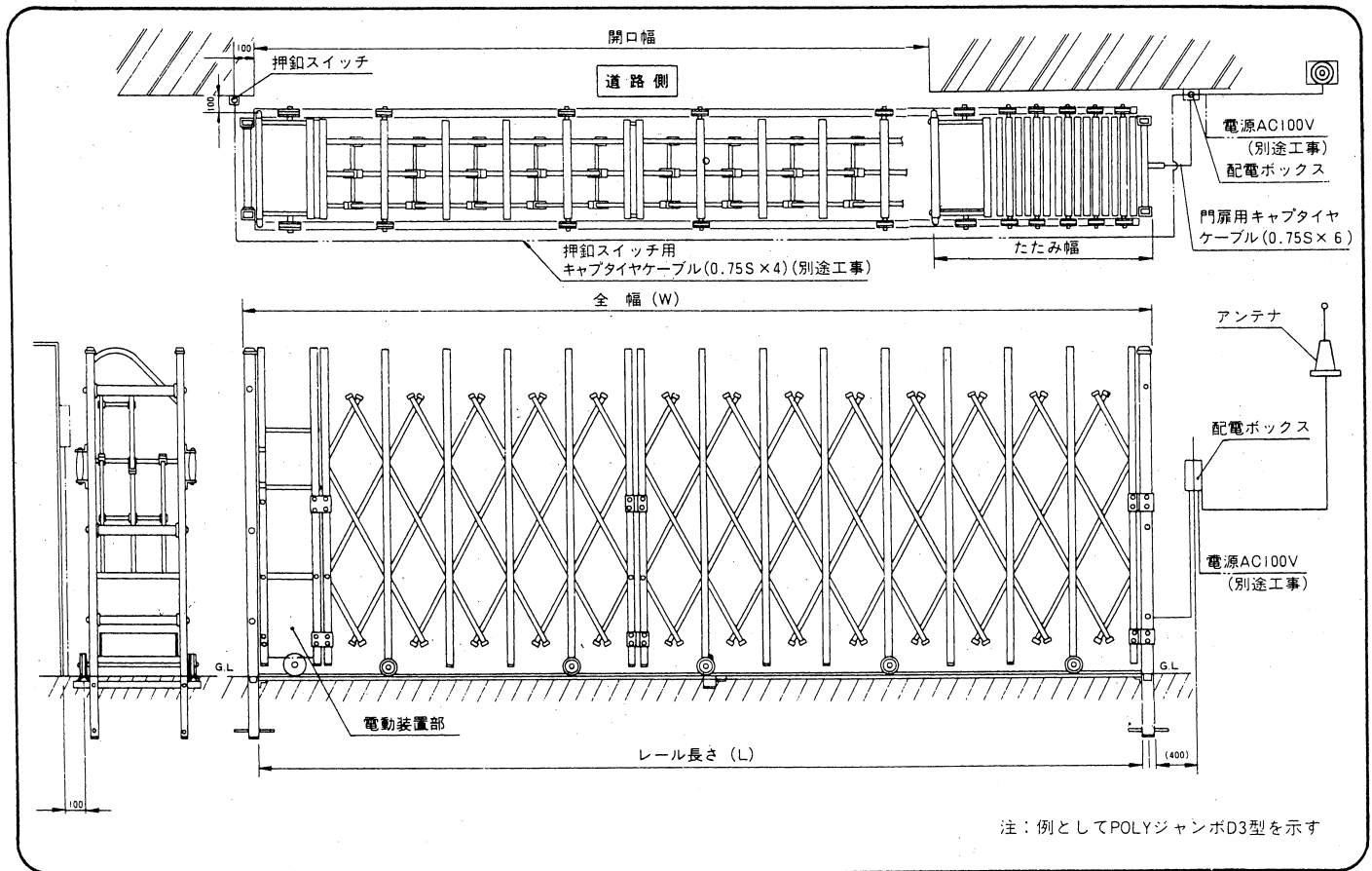
●一般仕様

入力電圧	AC100V 50/60HZ
入力電流	2A 50/60HZ
周囲温度	-10℃～70℃ 但し結露、凍結を除く。
周囲湿度	85%以下
使用環境	標高1000m以上、塩害の恐れのある海岸、沿岸部及び腐食性ガス、粉塵等を発生する地域を除く。
ドライブシャフトトルク	1.5kg・m
ブレーキトルク	2.5kg・m
ドライブシャフト回転数	30/36rpm (50/60HZ)
時間定格	連続
リモコン送信可能範囲	20m以内

■梱包明細書

名 称	員 数	名 称	員 数
電動装置枠体	1	アンテナ	1
安全装置前板	1	ドグセット A	1
安全装置前板取付ビス	4	ドグセット B	1
配電ボックス	1	取付説明書	1
押ボタンスイッチ	1	アンテナ取付ビス(M4×15 バインド)	6
リモコン送信器	1	アンテナ取付用L金具	1
		カールフラグ	2

1. 納り図



形式一覧表

●POLYジャンボD-3型

(%)

型 式	本 体 数	全 幅	有効開口幅	たたみ幅
360S	360×1	4,020	3,110	850
490S	490×1	5,320	4,280	980
710S	360×2	7,620	6,300	1,260
840S	$\frac{360}{490} \times 1$	8,920	7,465	1,395
970S	490×2	10,220	8,635	1,525
1,060S	360×3	11,220	9,485	1,675
1,190S	$\frac{360}{490} \times 2$	12,520	10,655	1,805
1,320S	$\frac{360}{490} \times 2$	13,820	11,820	1,940
1,450S	490×3	15,120	12,990	2,070

●POLYジャンボD-1型

(%)

型 式	本 体 数	全 幅	有効開口幅	たたみ幅
300S	300×1	3,420	2,517	843
400S	400×1	4,420	3,394	966
600S	300×2	6,420	5,088	1,272
700S	$\frac{360}{400} \times 1$	7,420	5,965	1,395
800S	400×2	8,420	6,842	1,518
900S	300×3	9,420	7,659	1,701
1,000S	$\frac{300}{400} \times 2$	10,420	8,536	1,824
1,100S	$\frac{300}{400} \times 2$	11,420	9,413	1,947
1,200S	400×3	12,420	10,290	2,070

●ジャンボアルミ3型

(%)

型 式	本 体 数	全 幅	有効開口幅	たたみ幅
300S	300×1	3,365	2,485	847
400S	400×1	4,365	3,380	952
600S	300×2	6,365	5,125	1,207
700S	300×1 400×1	7,365	6,020	1,312
800S	400×2	8,365	6,915	1,417
900S	300×3	9,365	7,770	1,562
1,000S	300×2 400×1	10,365	8,665	1,667
1,100S	300×1 400×2	11,365	9,560	1,772
1,200S	400×3	12,365	10,455	1,877

■レール構成とレールの長さ

●POLYジャンボD-3型

型 式	レ ー ル の 構 成				レールの総数
	1,800%	2,100%	2,450%	2,750%	
360S	1	1			2本
490S			1	1	2本
710S	3	1			4本
840S	1	1	2		4本
970S			3	1	4本
1,060S	5	1			6本
1,190S	3	1	2		6本
1,320S	1	1	4		6本
1,450S			5	1	6本

●ジャンボアルミ3型

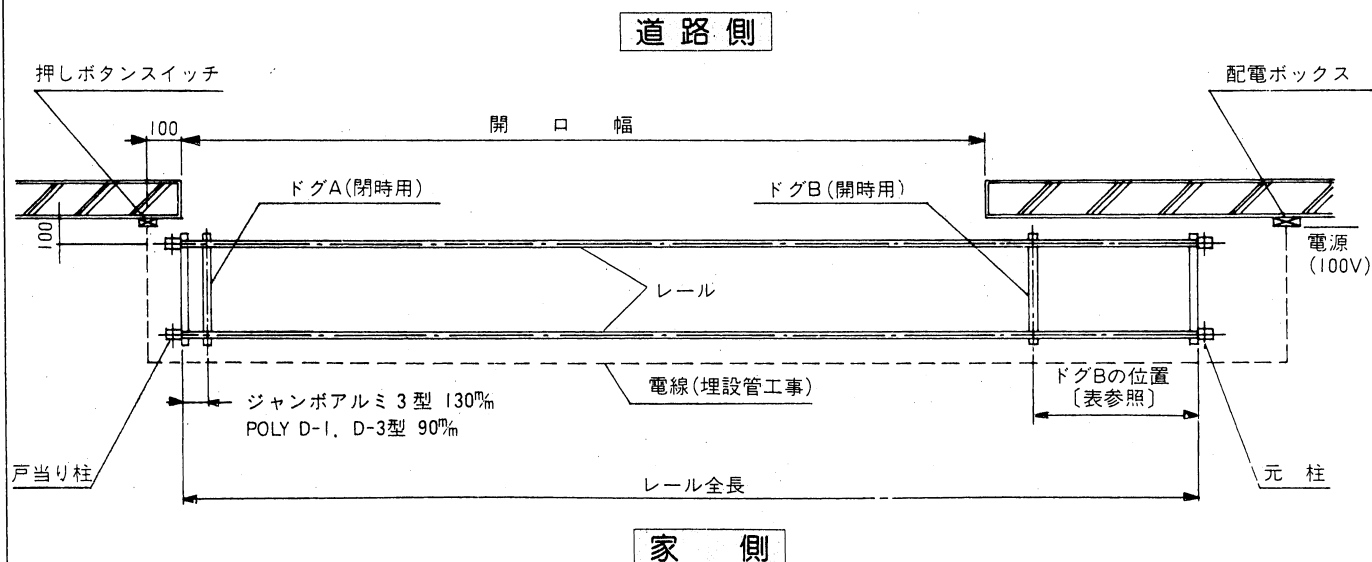
型 式	レ ー ル の 構 成				レールの総数
	1,500%	1,800%	2,000%	2,300%	
300S	1	1			2本
400S			1	1	2本
600S	3	1			4本
700S	1	1	2		4本
800S			3	1	4本
900S	5	1			6本
1,000S	3	1	2		6本
1,100S	1	1	4		6本
1,200S			5	1	6本

●POLYジャンボD-1型

型 式	レ ー ル の 構 成				レールの総数
	1,500%	1,800%	2,000%	2,300%	
300S	1	1			2本
400S			1	1	2本
600S	3	1			4本
700S	1	1	2		4本
800S			3	1	4本
900S	5	1			6本
1,000S	3	1	2		6本
1,100S	1	1	4		6本
1,200S			5	1	6本

2.ドグA・Bの納り

〔電動開閉装置左側の図〕



※注意 電動開閉装置が右側にくる場合には、この図と左右が逆になります。

※注意 ドグA・Bの寸法は各々戸当り柱、吊元柱の内側からドグベース板の中心までの距離です。

■ドグBの位置施工寸法

●POLYジャンボD-3型 (%)

型 式	ドグB位置
360S	700
490S	830
710S	1,110
840S	1,245
970S	1,375
1,060S	1,525
1,190S	1,655
1,320S	1,790
1,450S	1,920

●POLYジャンボD-1型 (%)

型 式	ドグB位置
300S	693
400S	816
600S	1,122
700S	1,245
800S	1,368
900S	1,551
1,000S	1,674
1,100S	1,797
1,200S	1,920

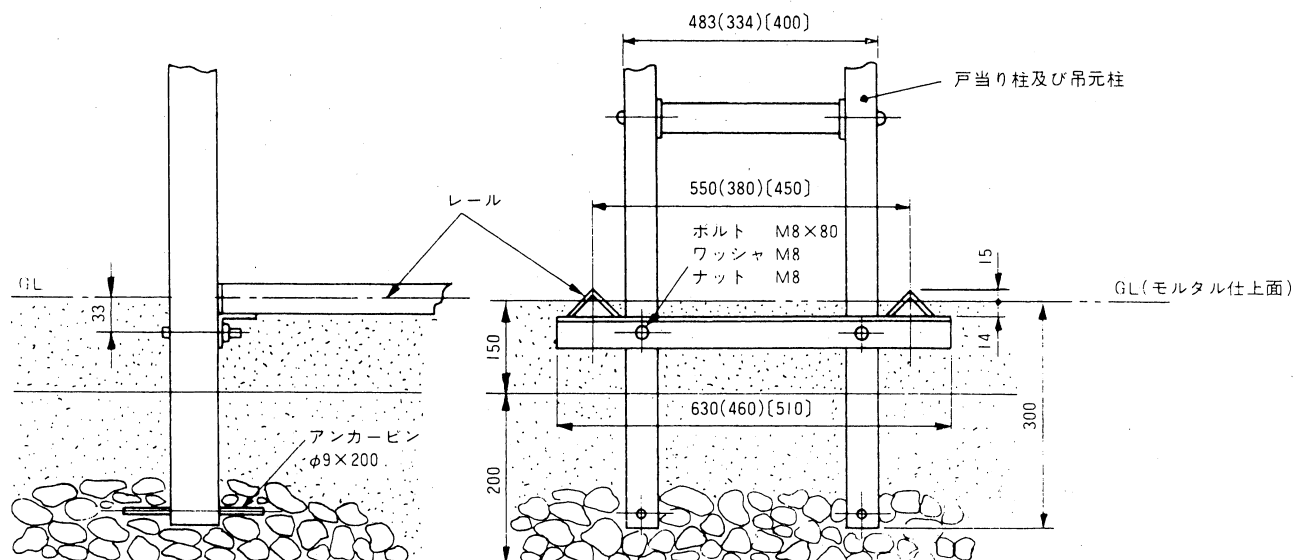
●ジャンボアルミ3型 (%)

型 式	ドグB位置
300S	680
400S	785
600S	1,040
700S	1,145
800S	1,250
900S	1,395
1,000S	1,500
1,100S	1,605
1,200S	1,710

※表のドグBの位置は基準寸法です。微調整は本体を連結し、位置を確認の上、施工を行なって下さい。

3. POLYジャンボD-1型、D-3型、ジャンボアルミ3型取付・施工について

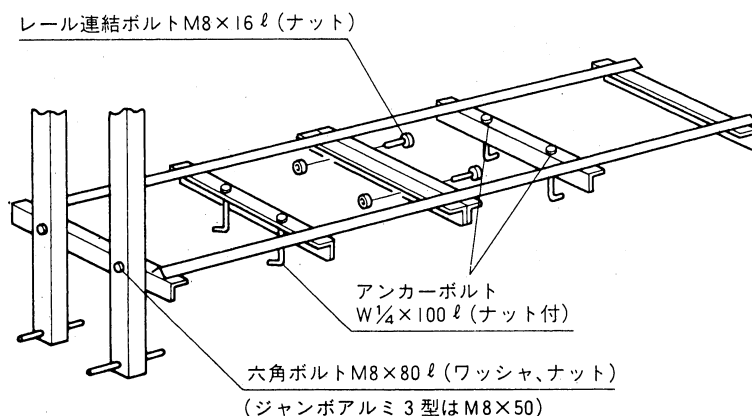
〔柱の組付及びレールの埋設〕 ()内はD-1型の寸法 []内はジャンボアルミ3型の寸法



標準施工

1. 基礎コンクリートは200%以上とって下さい。(重量車出入口の場合はさらに150%以上補強して下さい。)
2. 柱の埋め込みはレベルシールに合せて下さい。(レール上端が仕上げモルタル面より必ず15%出るようにして下さい。)
3. レールは柱と垂直にかつGLに水平に施工して下さい。
4. レールアングルの下にもコンクリートをよく突きこんで下さい。

〔レールの連結〕

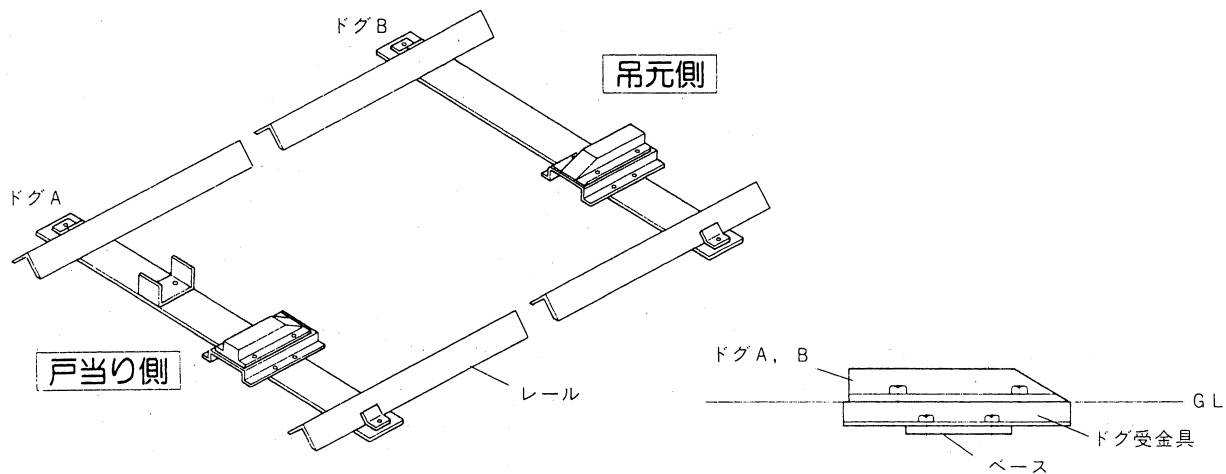


- 連結は連結ボルトによって行なって下さい。
- 連結したレール間も水平になるよう、充分注意し施工して下さい。

〔ドグ A・Bの取付け〕

前後方向がありますので下図を参照に前後を確認の上、施工・取付を行なって下さい。

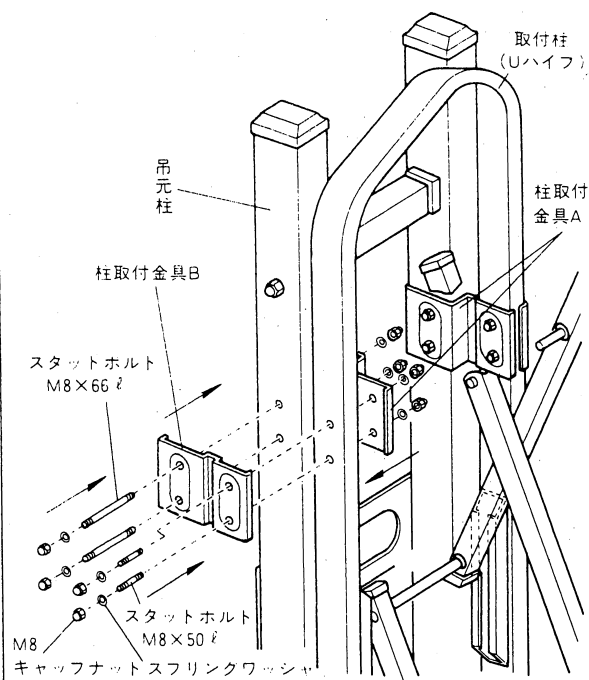
左開き、右開き共に部品は共通です。ベースを半転させることにより電動装置との相対関係を確認して施工して下さい。



ドグ受金具上面がGLモルタル仕上面となるようにベース、レール、ドグ受金具を埋設し、ドグ A、B が前後に微調整できるようにして下さい。

〔吊元柱への門扉本体の取付け〕

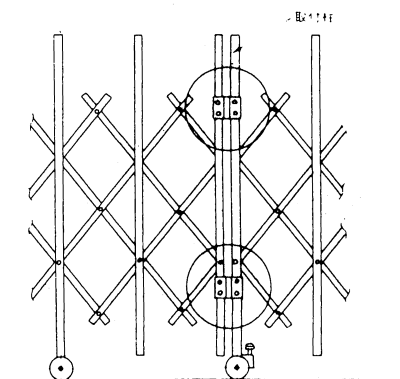
■POLY ジャンボ D-3 型



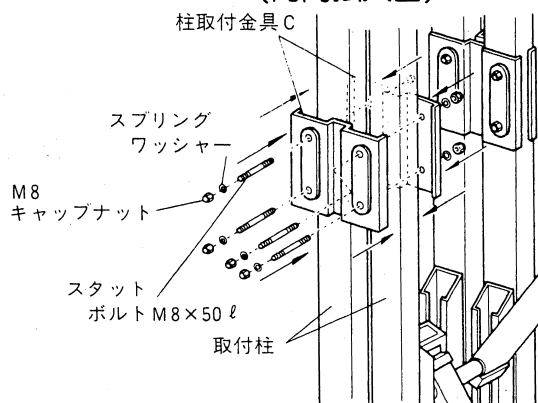
●吊元柱への門扉本体の取付は図示の様に、柱取付金具A,Bによって取付けて下さい。

〔門扉本体の連結(電動枠と第1枠体の取付も同様)〕

■POLY ジャンボ D-3 型

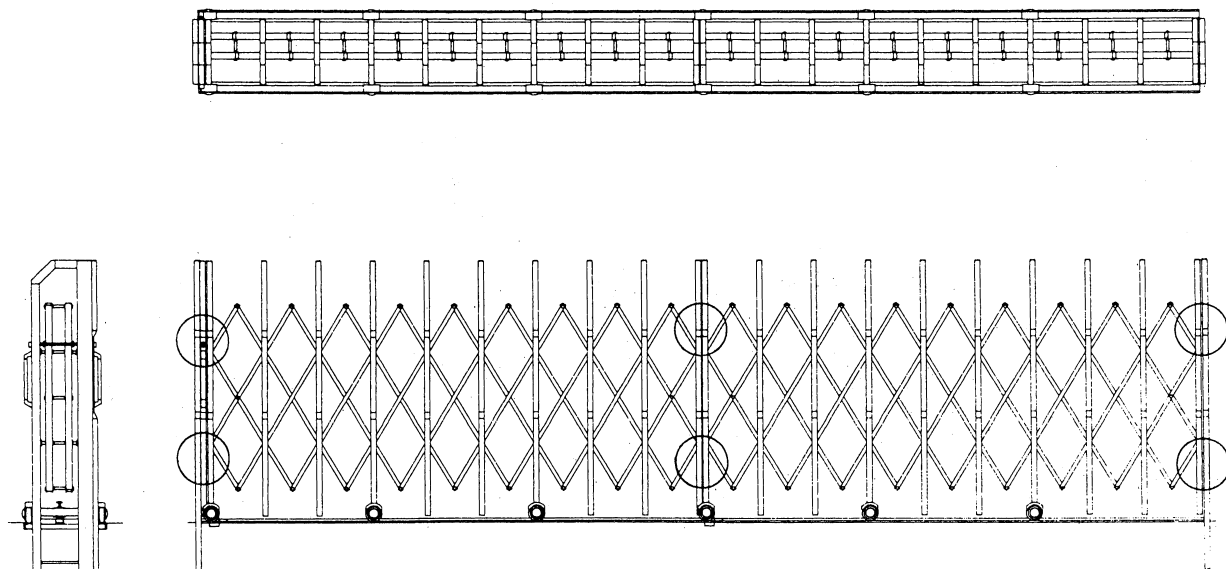


(円内拡大図)

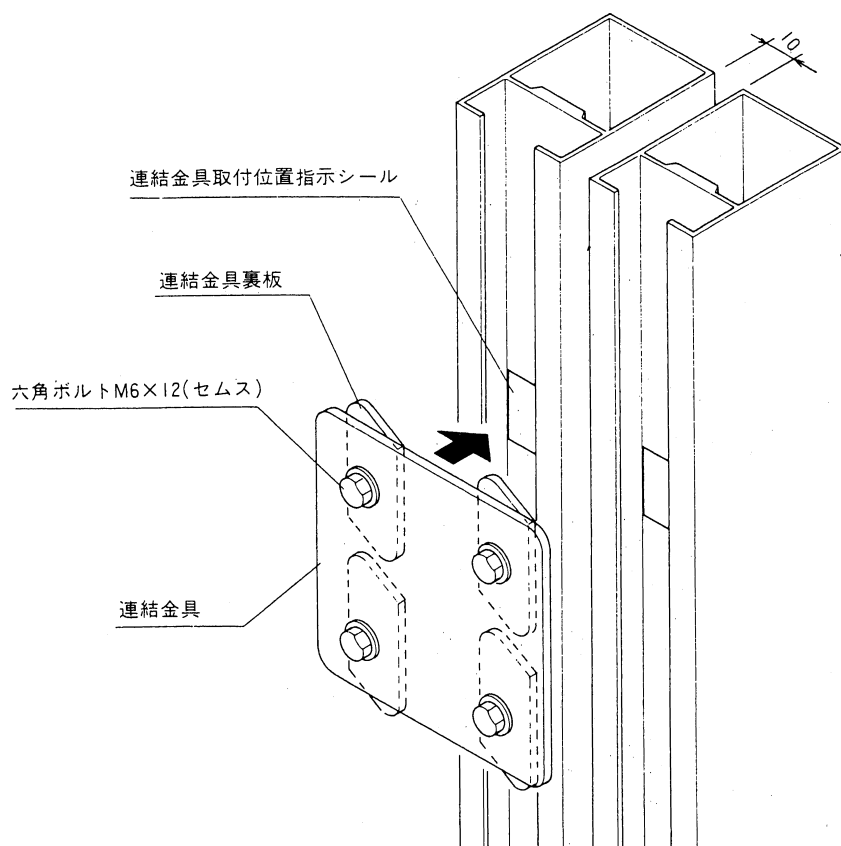


〔ガイド柱～本体～柱の連結〕

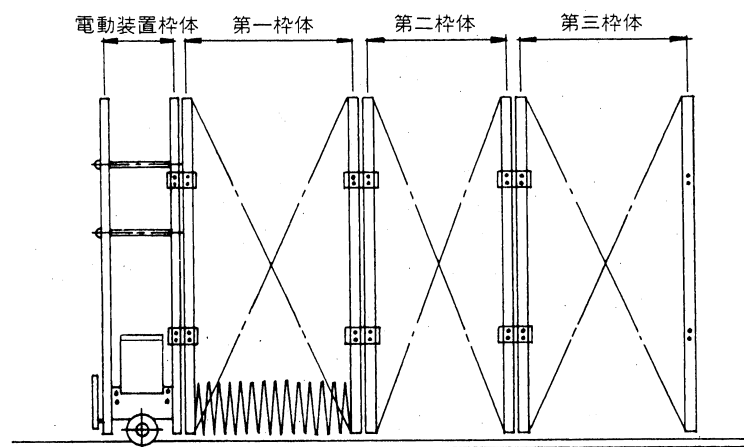
■ジャンボアルミ 3 型



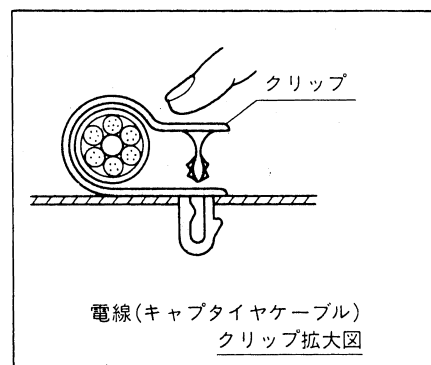
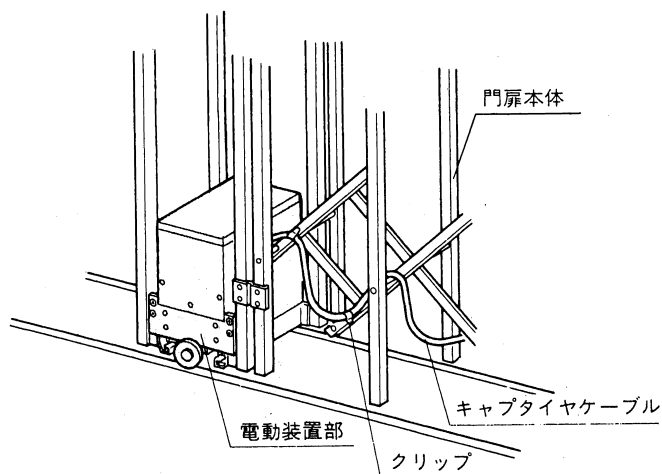
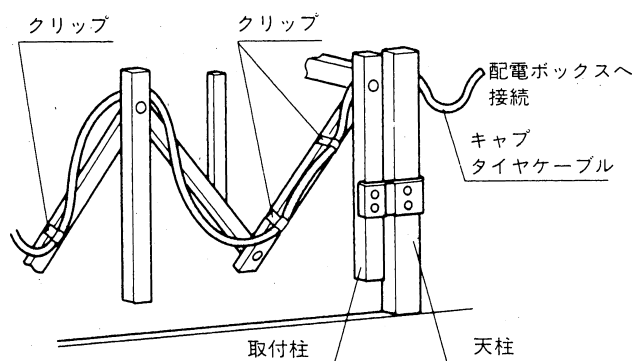
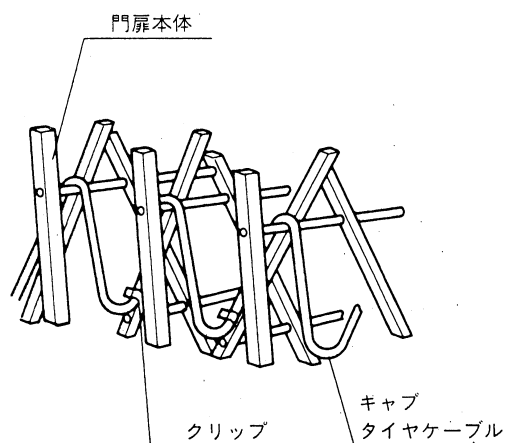
1. ガイド柱、本体、吊元柱をそれぞれ連結金具で連結して下さい。
2. 連結金具上部をシールに合わせ裏板をミゾにさし込み90°回転させた状態でボルトで固定して下さい。
3. 柱上部が平らになる様に位置を調節して下さい。



4. キャプタイヤーコードの張り方



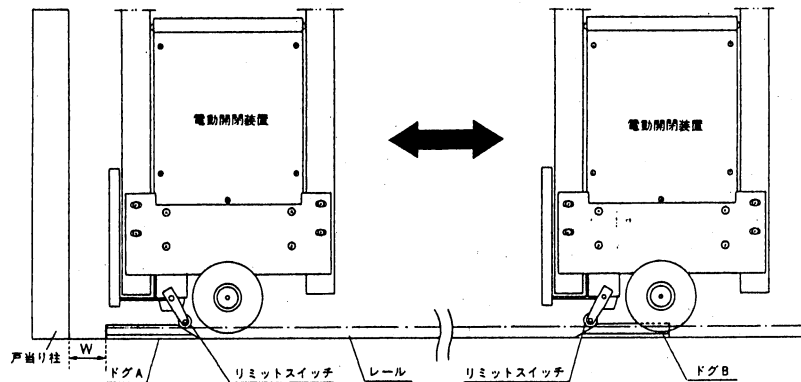
- 電線を張る前にレール上に設置された門扉本体を全閉状態の姿にしてください。
- 第一枠体には既に電線が張ってあります。又必要な長さを用意してあります。
- そのはしを取り出し、後の格子間に第一枠体と同じようにからげクリップ止めて下さい。



- 電動開閉装置はクラッチを切った状態にて出荷しております。

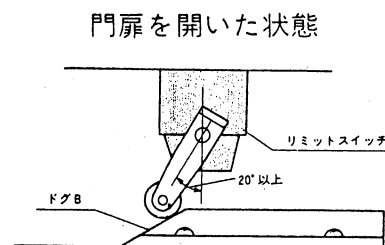
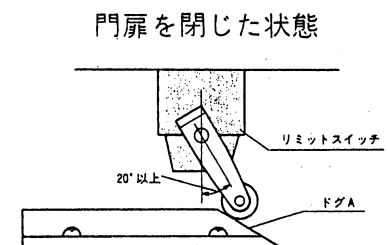
5. リミットスイッチ動作確認

本体建込が終了したら以下の手順により手動にて開閉動作を行ない、戸当り側・吊元側のリミットスイッチ動作を確認して下さい。

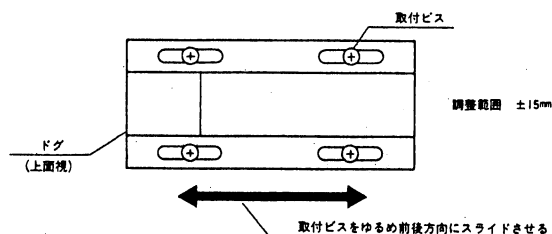


- (1) クラッチが切（手動開閉）の状態およびロック（錠）が解除状態になっていることを確認して下さい。（確認方法は後述の操作方法を参照して下さい）。
- (2) 手動にて電動装置本体を動かし戸当り側、吊元側のそれぞれリミットスイッチが適正な位置で動作することを確認して下さい。

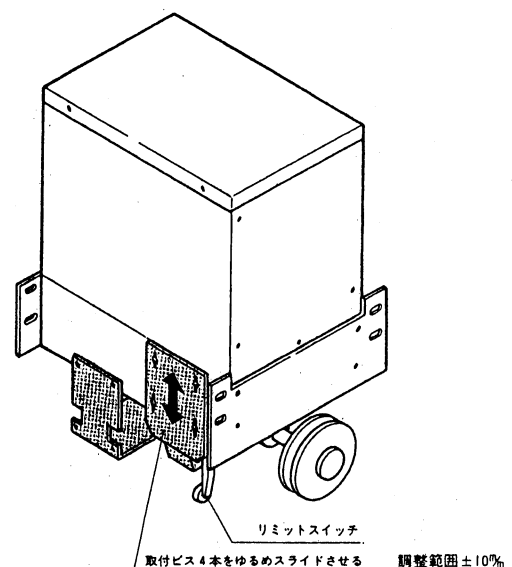
W寸法 { ジャンボアルミ 3 型 65mm
POLY D-1, D-3 型 25mm } ※なお、W寸法はあくまで目安ですので、必ず実際に動かしながら調整して下さい。



戸当り側、吊元側とも適正停止位置の若干手前（10～20mm）にてリミットスイッチがドグA、Bの傾斜面にのりあげ約20°傾くとスイッチがカチッと音がして動作します。



- (3) ドグA、ドグBの矢印方向の最終微調整は電動動作時に確認し、それぞれのドグをスライドさせて調整を行なって下さい。

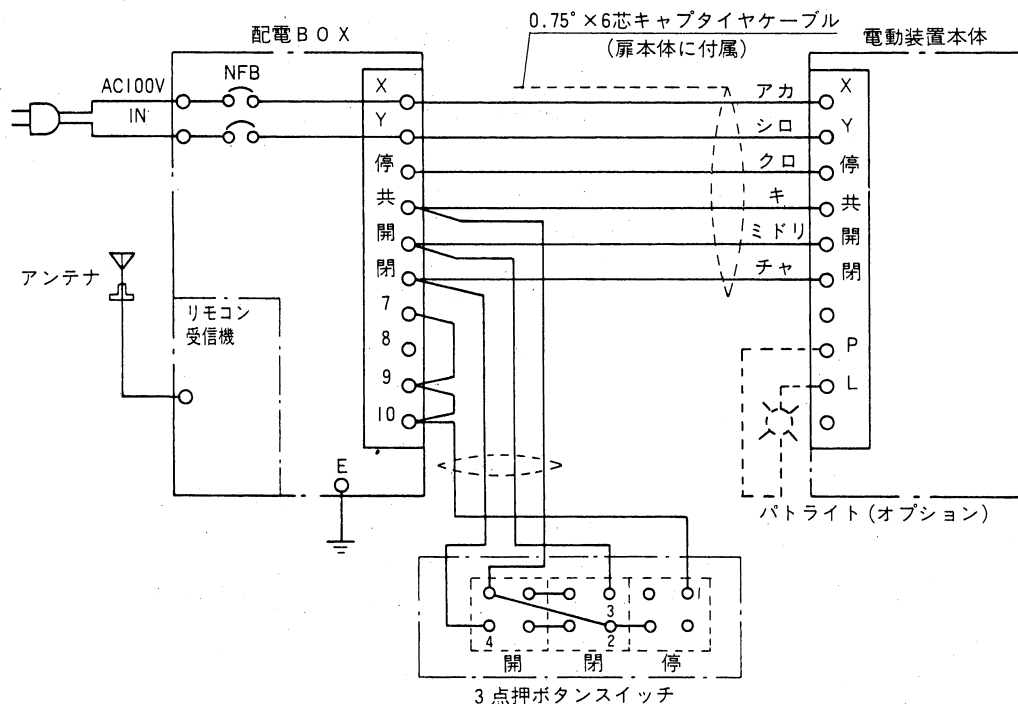


- (4) リミットスイッチの高さ調整を行なう場合は安全装置前板をはずし、調整して下さい。

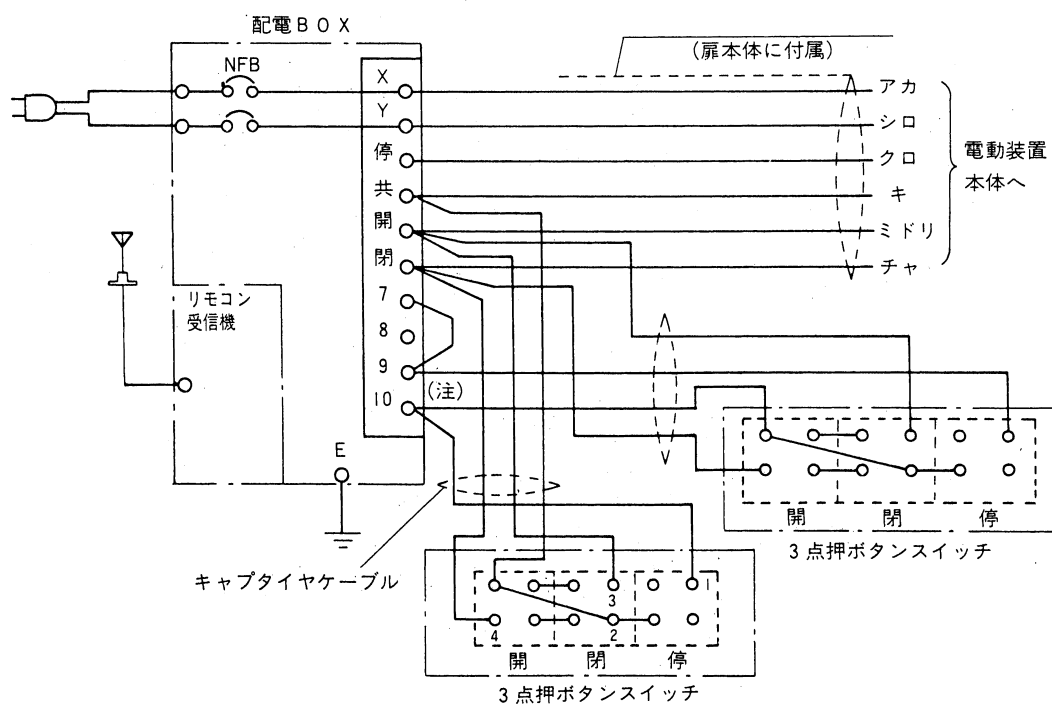
6. 結線

(1) 結線図

〔押ボタンスイッチ 1ヶ所の場合の結線図〕



〔押ボタンスイッチ 2ヶ所の場合の結線図〕

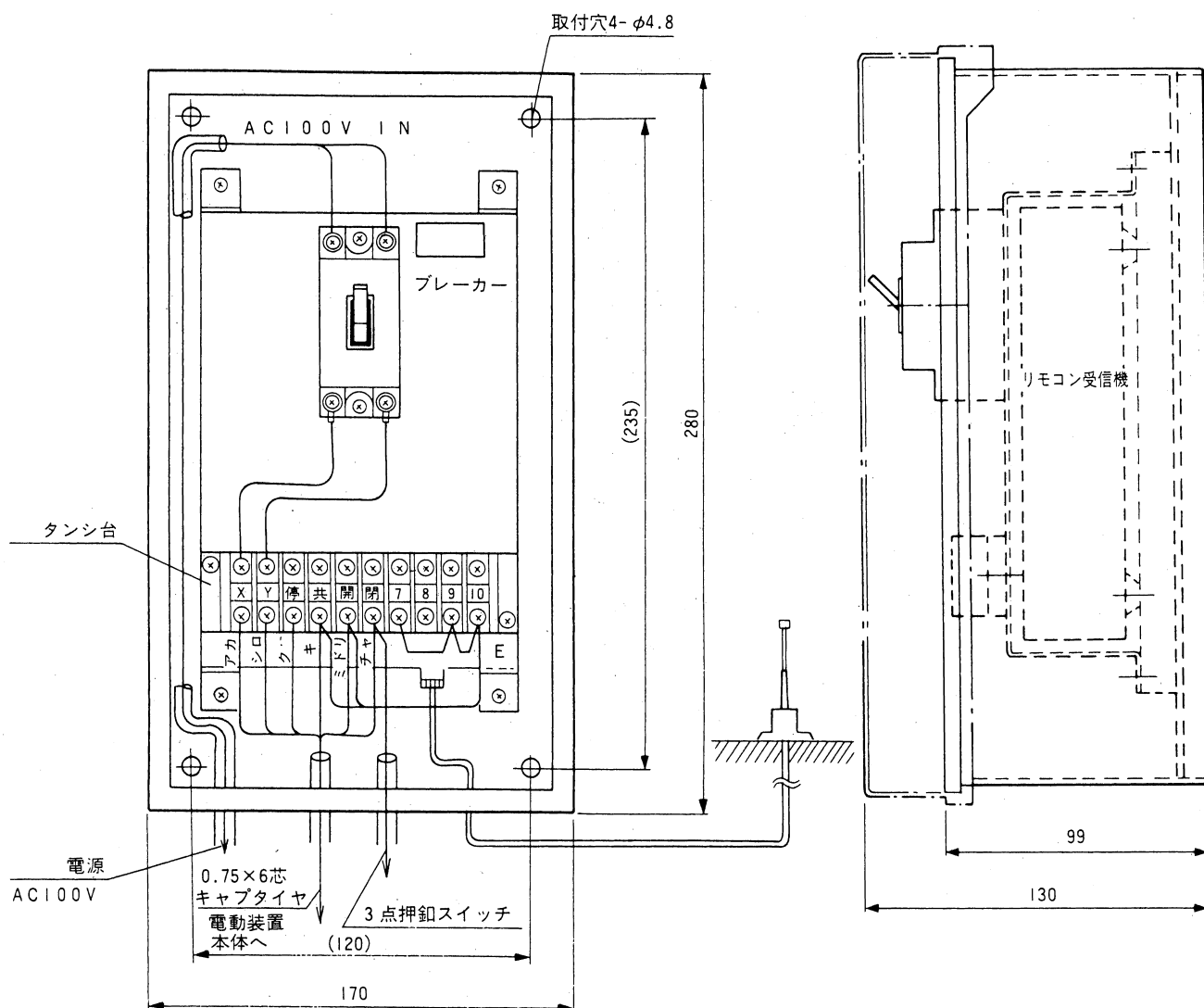


(注) 端子台記号 9-10間のジャンパー線ははずした上、押ボタンスイッチの結線を行なって下さい。

※押ボタンスイッチをまったく使用しない場合は、配電BOX端子台の“共”と“7”をジャンパー線でつないで下さい。

(2)配電BOX

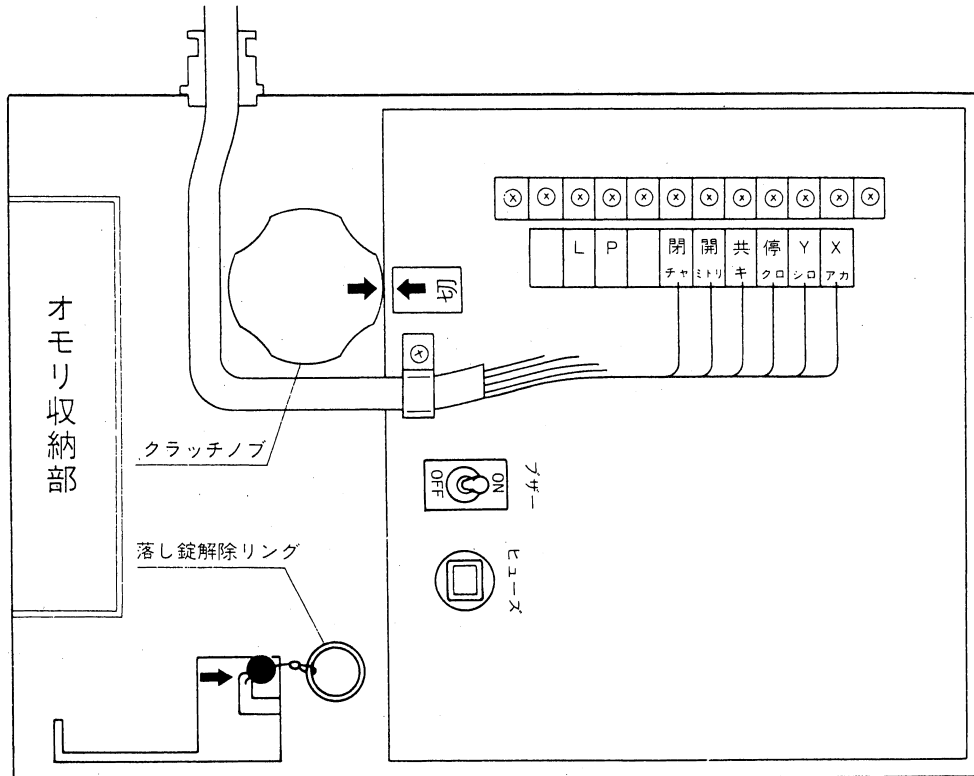
結線図に従って配電BOXに電動装置本体用キャプタイヤケーブル、3点押ボタンスイッチ用キャプタイヤケーブル、電源コード、アンテナを接続して下さい。



アンテナコードはできるだけ見通しの良い場所に伸ばして配置して下さい。

7. 操作方法

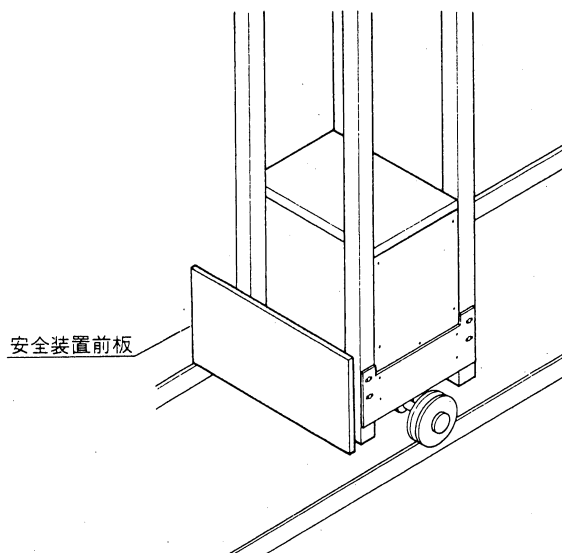
■試運転



(1) 電動装置本体の天板フタをとり次の確認をして下さい。

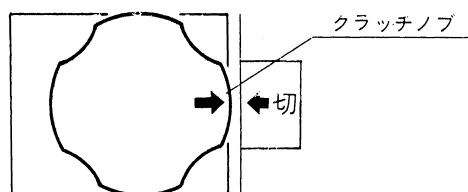
- ① ブザーのスイッチがONになっている。(ブザー音(警報音)が不要の場合はブザースイッチのみ“切”にして下さい)。
- ② クラッチを電動開閉側に合わせる。(「クラッチの操作方法」参照して下さい)。
- ③ 落とし錠を電動開閉側に合わせる。(「落とし錠の操作方法」参照して下さい)。
- (2) 配電ボックス内のブレーカを“入”にして押ボタンスイッチ、リモコン送信器にて“開”、“閉”、“停”を押し扉の開閉を確認して下さい。

(3) 安全装置動作の確認

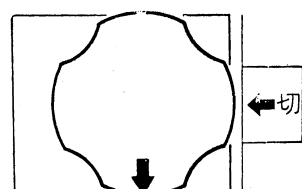


- 安全装置は門扉を閉じる時に前方に障害物があれば安全装置前板に当り停止します。押ボタンスイッチの閉を押し、モーターが駆動した後、安全装置前板を軽く押して停止するかを確認してください。停止しない場合には安全装置前板が歪んでいる場合がありますから上下、左右を交互に押してリミットスイッチの作動音(カチカチ音)がすることを確認して下さい。
- 安全装置の作動が不十分な場合、側蓋をはずし、安全板に連動しているリミットスイッチの調節を行なってください。調節は前後に動く長孔になっていますので任意の接点で取付けてください。

■クラッチの操作方法



クラッチ“切”（手動開閉）



クラッチ“入”（電動開閉）

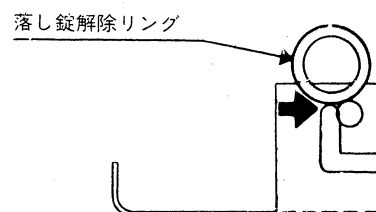
電動装置本体にあるクラッチノブを回して左図のように矢印を合わせるとクラッチ“切”の状態になり手動開閉用となります。
“切”の状態により左、右いずれか90°回転すればクラッチ“入”となり電動開閉可能となります。

■落とし錠の操作方法

本電動装置はオートロック機構を用いておりますので、通電時では門扉閉鎖状態で自動的にロックされます。

停電時、手動開閉に切換える場合は、ロックを落とし錠解除リングにて図中の矢印まで引上げて解除状態とします。

通電時には必ずリングを下ろし“電動開閉側”にして下さい。



工事店様へ

- 吊元側・戸当り柱の垂直及びレールの水平を出して施工して下さい。
- コンクリートの硬化後に扉本体の組付を行って下さい。
- 組付け完了後、ボルト・ナット類の締め具合を確認して下さい。
- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に拭き取って下さい。
- 施工終了後、扉の開閉に異常がないかを確認して下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取って下さい。
- レール部にゴミ・土・砂・雨水がたまらないようにしてください。車輪がはずれたり、開閉が重くなる原因になります。
- 車輪の走行をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油して下さい。
- 子供などのいたずらで扉に乗って走行させるなど無理な使い方をしますと故障の原因ともなりかねませんので絶対にしないで下さい。

取説コード

D77

IB-K(4)